



楽水園



姿見橋交差点



ささのやの園(奥に大隈言道記念碑)



楽水園「水琴窟」



警固神社



東林禅寺



住吉神社



容見橋



人參畑塾趾の碑



柳橋連合市場

歴史と文学の香り

博多区・中央区(博多駅〜住吉通り〜天神) 巻頭マップ⑥

大通りから一步中へ入ると……

福岡市内を代表する住吉通りや渡辺通り、この表通りから一步裏手へ足を踏み入れると、意外にも歴史や文学の香りを感じることが出来ます。今回は福岡市観光案内ボランティアの上村敏和さんの案内で「歴史探訪住吉コース」に出かけました。

JR博多駅前を出発し住吉通りを渡辺通り方面へ進みます。黒田藩の薬用人参畑のあった「人参公園」を経て、高場乱の「人参畑塾趾碑」を発見。続いて住吉通りを渡り、黒田藩三代藩主光之の重臣立花実山が建てた「瑞鳳山東林禅寺」から博多商人の粹、茶の湯を楽しむ日本庭園「楽水園」を巡り、住吉三神を祀る神社の起りと言われる「住吉神社」を拝観しました。その後、渡辺与八郎に因んで命名された「渡辺通り」を横断し、菅原道真公が我が容(すがた)を水鏡に写し、そのやつれた様を嘆いた「容見橋(すがたみばし)」（信号標記は姿見橋）から、和歌の維新に博多から挑戦した幕末の歌人「大隈言道」ゆかりの「ささのやの園」(今泉公園横)を巡りゴールの警固神社に到着です。

コースには博多の台所「柳橋連合市場」もあり、新鮮な食材の買物も楽しめます。万歩計を見ると五〇〇〇歩を示しており、歴史と文学を学びながら身体も鍛えられる一時間余りの散策を満喫しました。

次に散策中に見つけた穴場を紹介します。「楽水園」では春の桜、秋の紅葉など四季の移り変わりを楽しむことができます。また耳を澄ますと地中から水琴窟の微かな美しい音色も響きます。都心にあるオアシスともいえるべき心が癒されるおすすめスポットです。一方「ささのやの園」には桜をこよなく愛し、和歌に詠んだ大隈言道の歌碑の他、言道を見出した佐々木信綱の碑文など「大隈言道ゆかりの五つの碑」が設置されています。

「神にだに
祈らまほしく なりにけり
わが待つ花や 恋のあだ人」
大隈言道

- アクセス
 地下鉄「博多」駅、「天神」駅
 「天神南」駅
 (福岡シティループバスぐるーん)
 ① 博多駅交通センター
 ② 天神コア前
 ③ 柳橋連合市場前
 ④ 住吉神社前
 ⑤ JR博多駅
 ⑥ 西鉄バス「博多駅前」
 「駅前四丁目」
 「天神警固神社三越前」
 JRバス「博多」
 ■コース散策:約1時間30分



ボランティアガイドの上村敏和さん

※1(たかば おさむ)
 野村望東尼(大隈言道の弟子)や柳原白蓮と並ぶ「福博三女傑」の一人。「興志塾(人参畑塾)」を開き、頭山満などを養成したことから「女洋社の生みの親」とも言われる。

※2(たちばな じつざん)
 千利休の高弟 南方宗啓が聞き書きした利休茶道唯一の指南書「南方録」を発見し、研究を重ねて茶道「南方流」「南坊流」を興した。

※3(わたなべ よはちろう)
 福岡市への九州帝国大学誘致やチンチン電車の博多循環線建設などに私財を投じて福岡の未来を開いた博多商人。